

令和7年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月31日(日)① 担当部局・担当課名:農林水産部農業技術課

事業名	とやま型スマート農業推進事業	評価結果	一部改善
-----	----------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

<p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・スマート農業技術の導入効果が高い1ヘクタール以上の大区画圃場は県内に約1割しかないため、圃場整備とセットで一体的に事業を進める必要があるのではないか。・農業全体の生産量や生産性の改善(労働力不足への貢献度など)に係る成果目標を明確に設定したらよいのではないか。・高額なロボットトラクタ(1,000万円超)に対する補助金の上限額(83万円)の設定は、導入を促進するには低いのではないかと。・高額な農業機械の導入による生産性向上を目指すなら、個人所有ではなく共同利用やシェアリングを促進するための事業体やサポート体制づくり(保険や予備機など)を県が主体となって進めることが必要ではないかと。 <p>【県民評価者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・RTKサービス(高精度位置補正情報サービス)の運営も重要ではあるが、まずは設備投資、導入の予算を増やしてはどうか。

県民評価者の評価シートによる評価				県民評価者総数	19
評価区分	行政の関与不要	役割分担見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり・拡充
	1	2	3	9	4 (現行0、拡充4)
県民評価者の主なコメント	評価結果と同じ評価	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none">・大型トラクター等との連携があつてこそなので、農業機械導入に係る補助は機械の種類ごとに補助率を分けることも考える必要があるのではないか。・スマート農機導入経費補助の補助率をもっと上げるべきだと思う。・農機のシェアリングに関しては、アプリなどを作って取り組みやすくした方がよいのではないか。・スマート農機の導入を行う事業者数が増えることに比例してデータ量も増加すると思うので、データをよく収集・分析し、収穫予測等に活かすことが必要。			
	上記以外	<p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none">・一番わかりやすいロボット(ドローン)を操作できる人を増やし、ドローン操作の大会などを企画するなど、農業にかかわる接点を増やすことすることで雇用拡大にもつながるのではないか。・スマート農機導入補助が上限83万円では普及が進まないのではないか。 <p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none">・公の機関が安価でリース(1年間は無料など)し、スマート農機の導入効果を実感できるようにすべきではないかと。 <p>【役割分担見直し】</p> <ul style="list-style-type: none">・全国的に圃場整備ができなければスマート農業は実現しないので、国が主体となって実施すべきではないかと。 <p>【行政の関与不要】</p> <ul style="list-style-type: none">・スマート農業化は、技術開発とペアで、民間や公的研究機関がもっと進めるべきではないかと。			

事業名	とやま型スマート農業推進事業			評価結果	一部改善
【参考】委員による評価				委員総数	4
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	2	2	0